



第5世代移動通信システム（5G）の 高度化に関する技術的検討

（RedCap/eRedCapの導入）

令和6年7月
事務局

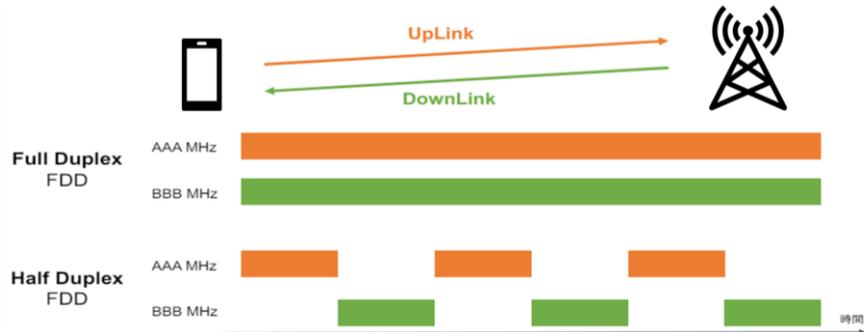
RedCap / eRedCapについて

- RedCap (Reduced Capability) / eRedCap (enhanced RedCap) は、5 GベースのIoT向け通信規格。
- 5 Gの機能を抑える（低～中速度でカバー）ことにより、機器のコストや消費電力の低減が図られている。4 GベースのIoTシステムの置き換えとしての活用も想定。5G SA (Stand Alone) ネットワークでのみ動作。
- 3GPPにおいては、RedCapをリリース17（2022年6月）で、さらに省電力化を実現するeRedCapをリリース18（2023年12月）で仕様策定済み。
- 国内導入に向けた技術的条件について、新世代モバイル通信システム委員会において検討を行う。

RedCap/eRedCapの主な技術的特徴

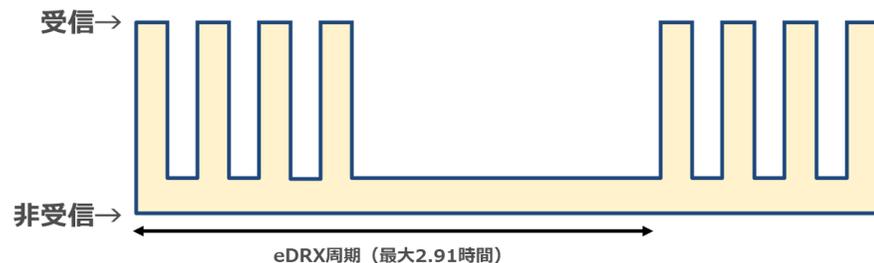
【Half Duplex FDD】

UL/DLを同時に行わず、端末設備を簡易化

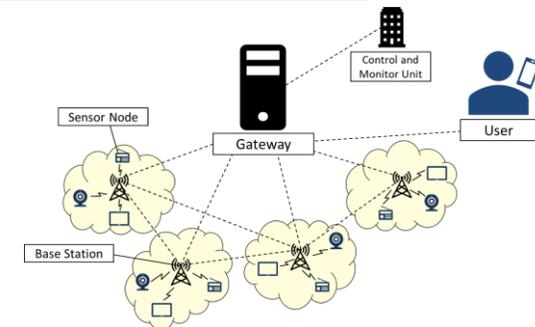


【eDRX】

非受信時間を長く設定し、消費電力を削減



主なユースケース



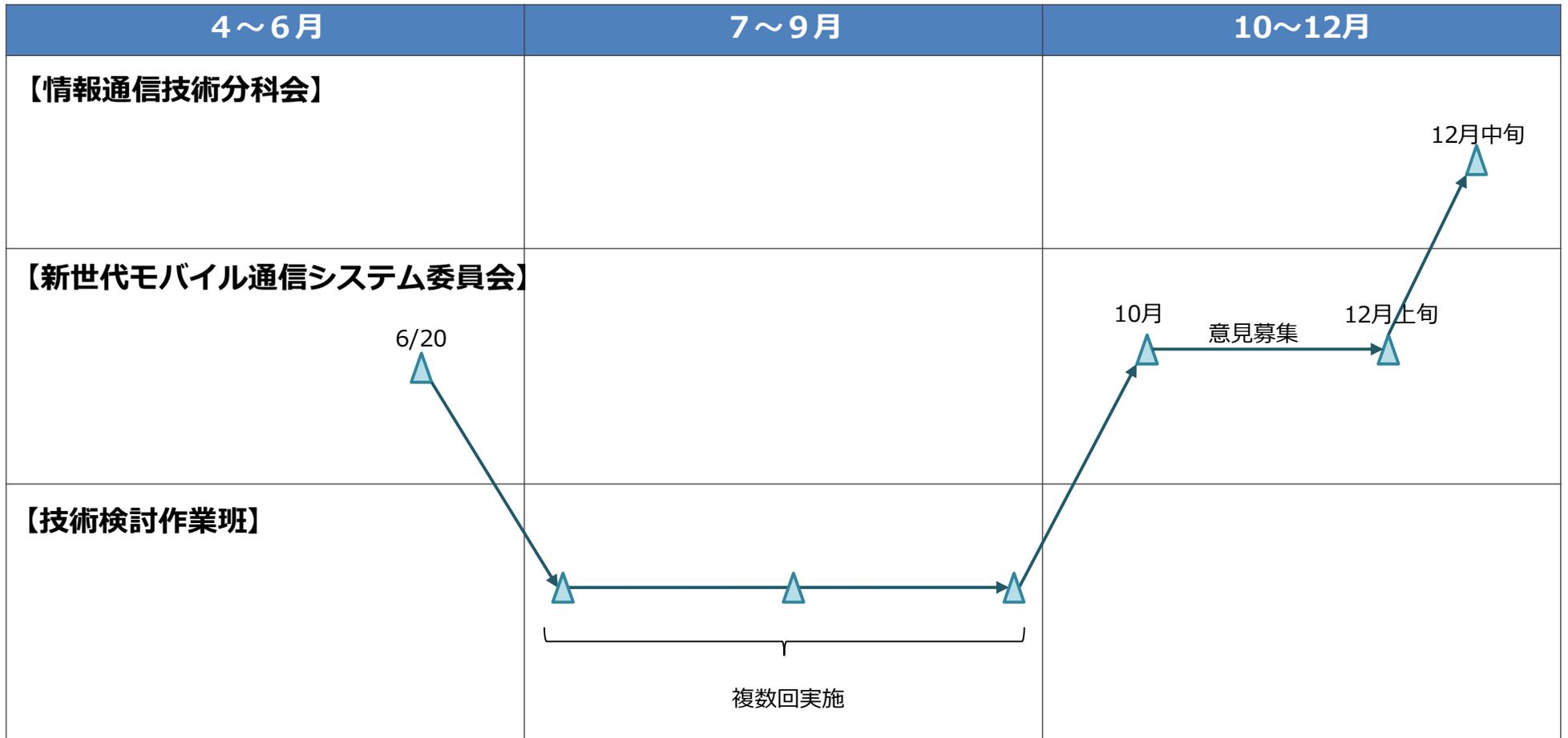
低速(2Mbps以下)、低遅延の
無線センサーネットワーク



数～数十Mbps・数週間稼働する
ウェアラブル端末

- 技術検討作業班において、具体的な技術的条件の検討等を実施。
- 年内の取りまとめを目指す。

2024年



注：検討状況によって変更がありえる。